

8月のリフレクションシートから ~Q&A 編~

海洋プランクトンから進化を探る①

~海洋プランクトンと微化石~

農学部 相田吉昭教授

Q 星砂をよく目にするが、あれは全て底生有孔虫のからなのか？偽物の場合もあるのか？

A 沖縄の離島の海岸ではサンゴの骨格のかけらでできたコーラルビーチがあります。砂質の海岸ではサンゴの骨格の破片も含まれますが、底生有孔虫の殻が多く含まれます。ルーペで拡大して見ると、生物起源の殻は形が無機質の砂粒子とは異なりますので、区別はすぐに分かります。本州の海岸の砂にも底生有孔虫の殻が含まれますので、気をつけて見ると身近な海岸にも見ることができます。

Q 研究者の写真に女性が多くて驚いた。理系というと女子が少ない印象があるので、研究者も女子が少ないのかと思っていた。どれくらいの割合で女性の研究者がいるのだろうか。

A 微化石の研究分野には女性が多数存在します。放散虫化石、珪藻。有孔虫化石、ハプト藻研究者に女性はたくさんいます。

感性工学入門

工学部 石川智治准教授

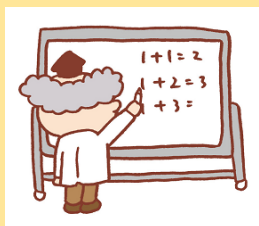
Q 先生は、感性工学を研究するにあたってどのようなことを初めにされたのか？また、この研究で「こんなことをするといい」「これには注意」などあるか？

A 私は、感性工学をしようと思って始めたわけではなく、ヒトが感じるものに興味があり、それを対象にする研究が感性工学だったということです。だから自分に興味があるものを突き詰めていけばよいのではないかと思います。感性工学をするにあたっては、まずは自分が感じるものを素直に受け止めて、その現象から意味を紐解いていくことが大切ではないかと思います。気を付けなければならぬのは思い込みだけに固執しないことだと思います。必ず実験して証明することが大切です。

これから多くの経験と知識を積んで、素晴らしい研究を行っていつて欲しいです。期待しています。



編集後記



一介の分子集合体にすぎないウイルスが、世界規模で社会変革を迫っています。ウイルスは宿主から宿主へ物質を移動させているにすぎないのに。

Stay-home を中心とした形に経済構造が急変していますが、急変しているのは教育の構造も同じ。オンラインを続ける大学には一部から批判も投げかけられていますが、ここには「学ぶとは何か」(学問、学歴、偏差値、教育の社会コスト、年齢や貧困と教育機会など)という本質的な問題が含まれているのだと思います。

かつて免罪符を乱発したカトリック(または宗教)は、ペストを機にプロテスタント(または資本主義)にその座を譲りました。現代に免罪符はないでしょうか? (大)